

## 編集後記

埼玉県環境科学国際センター報は、県民並びに関係諸機関にセンターの活動を紹介するための情報源としてだけでなく、環境情報の収集・発信のための媒体としての役割があります。センターは平成12年4月に活動を開始しており、本報(第24号)は、24年度目に当たる令和5年度の活動を記録したものです。

令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置づけられ、3年以上続いたいわゆる”コロナ禍”も一つの区切りとなりました。この間は、人の集まりや衛生観念に対して配慮する状況が続きましたが、その有用性を強く認識したのが、ウェブ会議やリアル配信といったデジタル通信技術の活用です。今や、私たちはウェブ会議なしでは業務の効率化が図れませんし、センター講演会は令和2年度からオンラインによるリアル配信を行うことで、日本各地から気軽に参加いただけるようになりました。また、”コロナ禍”で中止や中断を余儀なくされていた海外研究機関等との連携、交流も、令和5年度は回復の兆しが見え、今後の活性化が期待されます。

7月に全国的な社会問題となった中古車店店舗前の植樹帯の街路樹枯死について、埼玉県内の該当地点の土壌調査を実施しました。除草剤成分を検出するだけでなく、濃度の定量、散布量の推算することで、早期解決に貢献することができました。この調査については、各地の自治体の研究機関等からの問い合わせが多数あり、当センターの研究員の分析技術の高さをあらためて示すことができました。

本報は、印刷原稿の作成までをセンター全職員の参加により行ったものですが、編集方針・内容の決定、具体的作業に当たっては、下記の編集委員会がその任を負っています。

令和6年8月

編集委員一同

### 〈編集委員会〉

茂木 守 (研究推進室長)	三輪 誠 (研究推進室)
長谷隆仁 (資源循環・廃棄物担当)	金子一代 (事務局)
黒木 唯 (事務局)	横塚敏之 (研究企画室)
岡本慎吾 (生物多様性保全担当)	河野なつ美 (温暖化対策担当)
村田浩太郎 (大気環境担当)	安野 翔 (自然環境担当)
落合祐介 (化学物質・環境放射能担当)	木持 謙 (水環境担当)
石山 高 (土壌・地下水・地盤担当)	

### 〈協力者〉

八戸昭一 (研究企画室長)	松本利恵 (大気環境担当)
---------------	---------------

**埼玉県環境科学国際センター報**

第24号 令和5年度

令和6年10月31日発行

発行:埼玉県環境科学国際センター